

地域の交通安全を守るのは 私たち大人です

豊岡地域には、地域の交通安全を守ろうと、仕事の傍ら、交通安全のボランティア活動をしているグループがあります。今回は、その代表を紹介いたします。

鈴木春行さん(74歳) 八社宮

子どもたちを 交通事故から守る

子どもたちが安全に登下校できるように見守る…。豊岡交通指導委員会は、子どもたちの見守り活動を続けながら、地域の交通安全に貢献しています。



▲市内の小学校児童たちに自転車の安全な乗り方を指導する会員

した。現在、6人の会員がそれぞれ別の仕事をしながら、ボランティアで交通指導員活動を展開しています。

代表の鈴木春行さんは「子どもたちの安全は地域の大人が守らなければいけません」と力強く話します。

現代の車社会の交通事情を見ると、スピードを出す車が増え、信号を無視する車も後を絶たず、子どもたちの登下校は危険な状況におかれています。

このような状況の中、子どもたちの登下校の安全を守るためにも交通指導員の必要性は高く、その活動は大きな役割を担っています。

安全に乗れるように 自転車教室を開催

同会は、朝の立ち番のほか、市や警察、学校などと連携し

未来を担う子どもたちの 安全と笑顔を守りたい

ながら、自転車安全運転教室を行っています。年間10校ほどを対象に、1,000人以上の子どもの指導をしています。自転車の乗り方や交差点の渡り方などを中心に、学校のグラウンドなどに訓練コースを作り、実地訓練を行います。模範走行や心構え、ポイントなどを分かりやすく丁寧に指導します。

また、毎年10月に行われる豊岡秋祭りも会員の活動によって安全が確保されています。

会員は、事前に交差点などの要所を回って点検し、祭り当日は、だんじりを引く参加者と一緒に回って事故の発生を防いでいます。

体を張って 車から守ったことも

副会長の岡本久男さんは「高屋の交差点で正法寺方面に進行する車に特に注意しています」と話します。ここは、道路が真つすぐなため、車がスピードを出し、信号が変わっても突っ切って進入して来ることがよくあります。旗では制止しきれないこともあり、体を張って子どもを守ったこともあります。

愛情を持って

接しています

鈴木さんは「子どもたちが



▲豊岡交通指導委員会会長の鈴木春行さん。趣味は会員とカラオケに行くこと。得意な歌は「男のグラス」

間違った行動を取ると厳しく指導しています。子どもたちが好きだからこそ愛情を持って接するように心がけています。地域の大切な子どもたちが交通事故に遭わないように、私たちは頑張っています。私たちは頑張っています。と満面の笑み。同会のメンバーは、夏の炎天下の暑い日も、雪が降る寒い日も、子どもたちの笑顔を糧に、今日も頑張っています。



●ボランティア会員募集中 《問合せ》鈴木 ☎22-0183

西保育園

(豊岡)

〈園児151人〉



7月18日、住宅街に囲まれた西保育園では、毎年恒例の「夏まつり」が行われるようなので、その様子をのぞいてみました。

今夜は夏まつり一夜店がいっぱい!

園庭では、先生やお父さん・お母さんが、いろんなお店を開いています。ヨーつりや福引き、お菓子すくいのほか、ポップコーンやフランクフルト、かき氷、



綿菓子、せんべいの屋台が並んでいます。園児たちは、お父さん・お母さんと一緒にお店に並びました。

シャリシャリひんやり☆暑い日のかき氷はおいしいね

やっぱり暑い夏には、かき氷が食べたくなります。かき氷の屋台の前には長い行列ができ、イチゴやメロン、青リンゴ味など、色とりどりのかき氷が次々と作られていきました。



園児たちは、かき氷を口に頬張ると、「冷たくておいしい」と話し、笑顔がこぼれていました。

ヨーヨーつりに挑戦だ

次は、どの屋台に並ぼうかな。園児たちが次に目をつけたのはヨーヨーつりの屋台。いろんな模様



のヨーヨーが水にプカプカと浮いています。いぶきくん



(4歳)が、ヨーヨーつりに挑戦です。狙ったヨーヨーをつり上げると、お母さんと一緒に喜んでいました。

何だあれ?不思議な演劇ブラックシアター

夏まつりの最高の盛り上がりはステージイベント。いろいろなヒーローに変身したお父さんが登場し、音楽に合わせてダンスを披露しました。



最後は、先生たちのブラックシアターで演題は「にゃんきちいつかのだいぼうけん」。園児たちは、色鮮やかで不思議な演劇を楽しんでいました。

笑顔の輪

熱血!但馬で唯一の少年バレーボールクラブ

『兵庫北斗クラブ』(日高)



「兵庫北斗クラブ」は、同クラブは、小学生少女バレーボールクラブと合同で

小学生少年バレーボールクラブです。週5日間、午後6時30分から9時ごろまで市内の体育館で練習しています。昨年4月に発足し、但馬地域のメンバーもいます。昨年の兵庫県大会では4位と健闘しましたが、さらなる上位を目標に、日々、練習に励んでいます。代表監督の道仲博之さん(日高町鶴岡)は「バレーボールは団体球技の中で唯一、ボールをつかむことができな

いスポーツです。だからこそ瞬発力がとても重要になってくる競技です」と難しさと奥深さを語ります。誰もが知るこのバレーボールは、小学生の場合は1セット21点先取(最終セットは15点)の3セットマッチで、2セットを取ったチームが勝ち



▲試合形式で練習に励むメンバー

●メンバー募集中
《問合せ》道仲 ☎090-9540-1597